

アザキダイコン8月収穫のための抽だい防止方法

福島県農業試験場会津支場

平成11年度春夏作試験成績概要(会津支場)

平成12・13年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－ダイコン－作型・栽培型

分類コード 03－18－18000000

2 担当者

浅沼顕・小林祐一・菅野清・江川孝二

3 要旨

アザキダイコンを通年使用をするためには、貯蔵物がなくなる8月に、抽だいさせないで収穫する方法が必要とされている。そこで当年種子を使うことで以下の結果を得た。

なお、当年種子とは8月下旬にプランタに播種し、露地で生育させた後、1月中旬から最低気温10℃設定の加温した温室内で管理し、5月上旬に収穫し、乾燥後20℃の恒温器で保存した種子で、前年種子とは前年夏に収穫し、その後事務室内で冬を越した種子である。

- (1) 前年採取して低温を経た種子を使った場合、出芽直後や吸水させた種子に12～18℃の低温を与えても与えなくても、全株で抽だい・開花した。
- (2) 当年種子は、前年種子と比べて開花した個体が明らかに少なかった。また、花芽をもった株を含めても少なかった。

以上のことから、アザキダイコンを8月に出荷するためには、低温に当たらないように温室内で開花・採取し、その種子を使って播種・栽培することが有効であることが分かった。

4 その他の資料等

なし